HOPE

ホープ　ＰＷＳ型

パイロットガスバーナー（自然通風型）

取扱説明書

（株）横井機械工作所

〒４６３－０００２　名古屋市守山区中志段味大洞口２７２０－１
ＴＥＬ.０５２－７３６－０７７３
ＦＡＸ.０５２－７３６－０２５８

目　　次

1　概要・購入時の点検・部品名称　・・・・1

2　安全上のご注意　・・・・2

3　取り付け・配管及び配線・フローシート　・・・・4

4　点火・保守及び点検・注意事項　・・・・5

5　トラブルと思ったら　・・・・6

この度はホープＰＷＳ型パイロットガスバーナーをお買いあげいただき誠にありがとうございます。充分な性能を満足していただく為、また安全及び保守・点検等の為この取扱説明書をよくお読み下さいます様お願い申しあげます。

この取扱説明書は施工業者様はもとよりエンドユーザー様まで確実にお届け下さい。

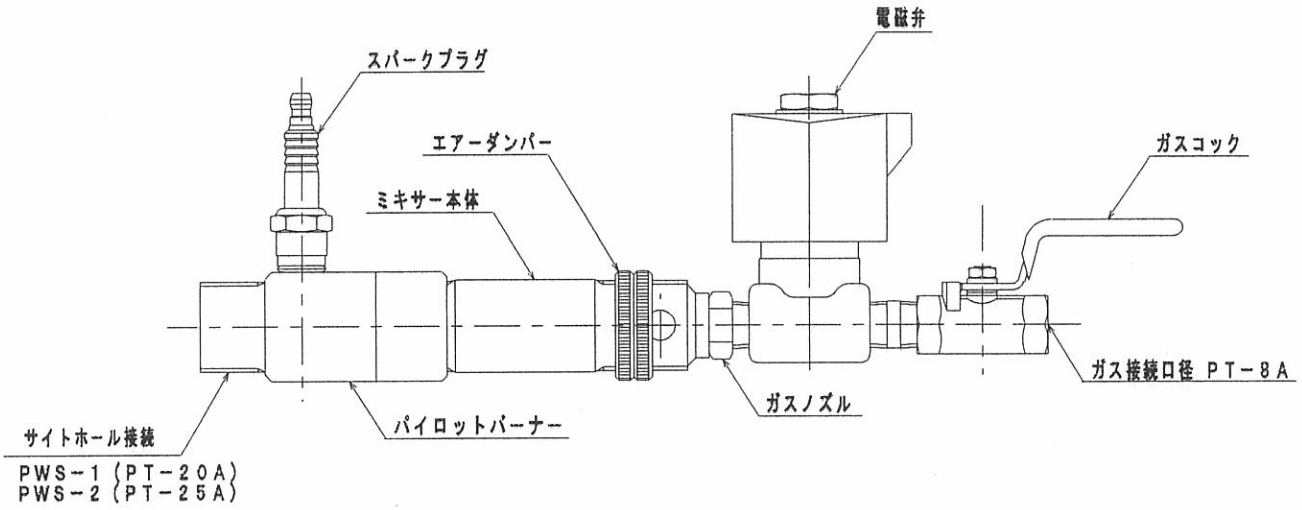
購入時の点検

このパイロットガスバーナーは、ＬＰＧ（プロパン）が標準です。特殊ガスでご注文された場合は、ガスノズル径が違いますので確認して下さい。又輸送中の破損等の有無を点検して下さい。

概　　要

本機は、燃料ガスの噴射により大気中の空気を比例吸引し、燃焼させるタイプの着火バーナーで、フレームリテンション機構により保炎され安定したフレームが得られます。

部品名称



安全上のご注意

取付工事、試運転調整、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「高度の危険」「危険」「注意」として区分してあります。

取り扱いを誤った場合に、極度に危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

尚、

に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守って下さい。

絵表示の意味		例
強制	行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。	必ず行う
禁止	禁止の行為であることを告げるものです。 近くに具体的な禁止内容が描かれています。	接触禁止
注意	注意を促す内容があることを告げるものです。 近くに具体的な注意内容が描かれています。	高温注意

必ずお読み下さい

高度の危険

着火動作の前には必ず炉内をプレパージして下さい。
特に着火動作を連続で繰り返すと、炉内に溜まったガスで爆発事故を起こす危険性があります。
火炎検出等の安全装置を設置して下さい。

危　険

感電注意

点火プラグのスパーク確認等の為、プラグの脱着をする場合は、必ずトランス電源を切ってから、おこなってください。

点火時及び燃焼時に、サイトホールは絶対に外さないで下さい。
※炉内の熱ガスが吹き出すことがあります。

注　意

接触禁止

バーナー前板、パイロットバーナー取り付け部周辺は燃焼中特に高温になります、触らないよう注意して下さい。

附属のパッキンについて

1. 附属のパッキンは本バーナーのシール以外には使用しないで下さい。
2. 交換した後の古いパッキンは、速やかに袋に入れ、廃棄する場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。尚、焼却処分は行わないこと。

取り付け

1) メインバーナー前板のパイロットバーナー取り付け穴、又はサイトホールにネジ込んで下さい。

2) バーナー前板にネジ込む時、ネジ部にシールテープを使用しないで下さい。（熱による有毒ガス発生の為）

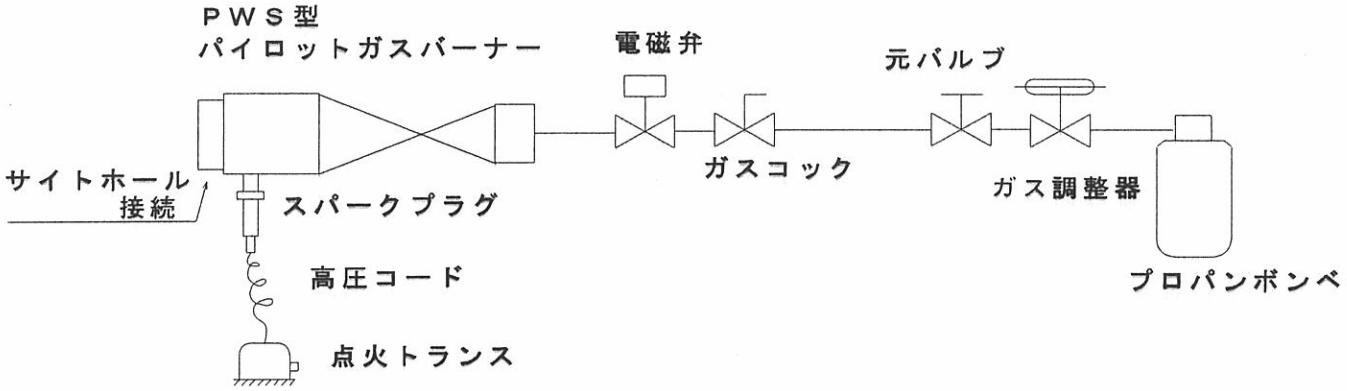
配管及び配線

1) ガスは調整器等により、５０kPa（０．５kg/cm²）で供給して下さい。

2) 電磁弁は１００Ｖ，２００Ｖの確認を、点火トランスは電圧による結線方法の確認をして操作ボックスより配線して下さい。（電圧を間違えた場合は、電磁弁の損傷、或いは２次電圧の低下又は損傷を招きます。）

3) 点火トランスは高圧コードにより点火プラグに結線し、トランス本体と炉、又はバーナーにアースして下さい。

（標準配管フローシート）



点　　火

1)　ガスラインのエアー抜きを完全に行って下さい。

2)　ガス圧力を確認して下さい。ＬＰＧの場合、基準圧力は５０kPa(０．５kg/cm²)です。

3)　電磁弁に通電し、電磁弁の作動を確認して下さい。開く時に音がします。

4)　点火トランスに通電して、スパークプラグのスパークを確認して下さい。

5)　ガスコックを全開にしてエアーダンパーの調整にて安定した炎を形成して下さい。

6)　調整が完了したら、２個のエアーダンパーをロックして下さい。あとはスイッチにより自動的に点火、燃焼します。

保守及び点検

1)　スパープラグは、月に１回程度清掃して下さい。

2)　プラグ．キャップの装着状態．高圧コードの損傷を定期的に点検して下さい。

3)　ウルトラビジョンを使用している場合は、月に１～４回程度検出管を柔らかい布で拭いて下さい。

4)　その他の部分は定期的に点検を行って下さい。

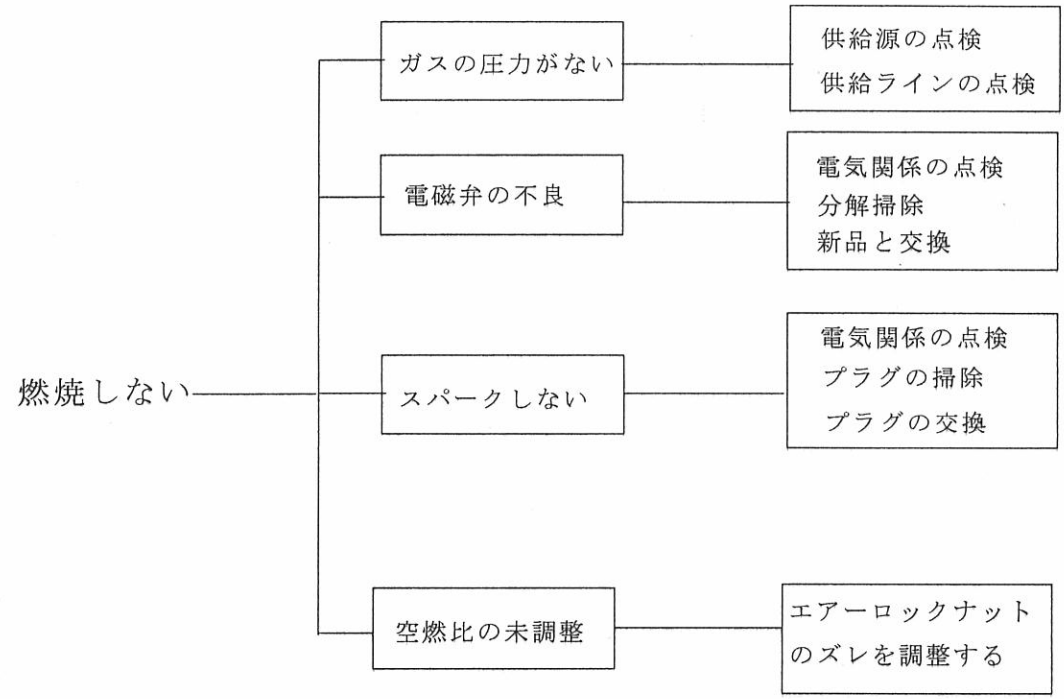
注意事項

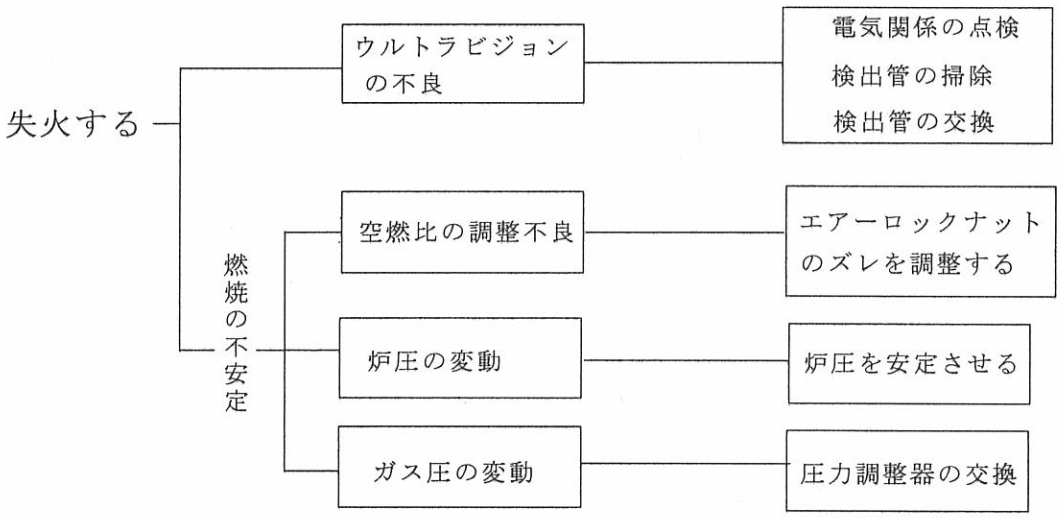
このパイロットバーナーは、自然通風の汎用タイプですので炉圧変動、又はメインバーナーの極端な負荷変動には不向です。

標準仕様

型　式	燃焼容量 kW　(Kcal/h)	ガス圧 kPa (kg/cm²)	ｻｲﾄﾎｰﾙ 接続径	ガ　ス 接続口径
ＰＷＳ－１	４．７（４０００）	５０(０．５)	２０Ａ	８Ａ
ＰＷＳ－２	８．１（７０００）		２５Ａ	

トラブルと思ったら


燃焼しない
ガスの圧力がない
供給源の点検
供給ラインの点検
電磁弁の不良
電気関係の点検
分解掃除
新品と交換
スパークしない
電気関係の点検
プラグの掃除
プラグの交換
空燃比の未調整
エアーロックナット
のズレを調整する


失火する
ウルトラビジョン
の不良
電気関係の点検
検出管の掃除
検出管の交換
燃焼の不安定
空燃比の調整不良
エアーロックナット
のズレを調整する
炉圧の変動
炉圧を安定させる
ガス圧の変動
圧力調整器の交換